

社団法人伊勢原市シルバー人材センター

中 期 基 本 計 画

(平成23年度～平成27年度)

社団法人伊勢原市シルバー人材センター

目次

I	計画策定の趣旨	1ページ
II	計画の目的	1ページ
III	計画の期間	1ページ
IV	基本目標	1ページ
V	計画の推進	2ページ
1	計画の進め方	2ページ
2	推進体制	2ページ
VI	基本計画	2ページ
1	会員の増強	2ページ
2	就業開拓の強化	3ページ
3	就業の公平化・適正化	3ページ
4	安全就業の徹底	4ページ
5	組織体制の強化	4ページ
6	財政基盤の安定化	5ページ
7	公益法人制度改革への対応	5ページ
8	会員の交流・親睦活動の活性化	6ページ
VII	将来推計	7ページ

I 計画策定の趣旨

社団法人伊勢原市シルバー人材センター(以下「センター」という。)は、平成9年10月に設立されて以来、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、地域に根ざした団体として順調に業績を伸ばし、平成23年3月末では会員数が883名、契約金額は2億7千9百万円余に達しました。

しかしながら、センターを取り巻く社会経済環境は厳しさを増し、長引く不況による経済情勢や雇用状況の影響を受け、受注量の伸び悩みや就業率の低下傾向等が見られます。また、行財政改革による補助金の削減や公益法人制度改革への対応等、乗り越えなければならない重要な課題を抱えています。

その一方、高齢化社会の本格的な到来を迎え、就業を希望する高齢者の増大に対する受け皿として、また、地域社会の担い手としてセンターの役割はますます高まり、これらの期待に応えていくためには、運営基盤の強化及び、事業の拡充を図る必要性が高まっています。

そこで、将来のセンターのあるべき姿を展望した基本目標を定め、各種の重点施策を継続的かつ着実に推進してより一層の発展を図るため、「中期基本計画」を策定することとしました。

II 計画の目的

計画策定の趣旨に基づき、センターが進むべき方向性を明確にし、今後の運営及び事業展開の基本方針とすることを目的とします。

III 計画の期間

平成23年度から平成27年度までの5ケ年を本計画の期間とします。

IV 基本目標

平成27年度末までの基本目標数値を次のように設定します。

- (1) 会員数 1,180人
- (2) 粗入会率 3.7%
- (3) 就業率 80%以上
- (4) 契約金額 2億84百万円

V 計画の推進

1 計画の進め方

「中期基本計画」は、センター事業を進めるための基本方針を示したものであり、この中の「目標数値」および「基本計画」の内容に従って年度毎の事業実施計画の中において具体的方法を検討し、計画的かつ着実に実行に移していきます。

各年度末には、計画に対する達成状況を評価・検証し、未達成が明らかになった時は、以後の実施計画内で見直しや軌道修正を行い、目標達成を目指します。

2 推進体制

「中期基本計画」を実効性のある計画とするために、会員、理事及び事務局によって構成された中核となる組織を立ち上げ、本計画の進め方を踏まえ、的確な進捗管理を行うものとします。

VI 基本計画

センターの更なる発展を期すために、計画目標を定めて中長期にわたって継続的に取り組む必要があります。以下に各計画目標についての現状と課題及び基本計画の内容を示します。

1 会員の増強

(1) 現状と課題

高齢化の進展に伴って、センターの社会的な使命はますます重要性を増すと考えられますが、現在の会員の入会率はほぼ横ばい状態です。又、女性の入会者が少なく、女性が魅力的に感じる施策を講じて入会を促すことがセンターの健全な発展には不可欠です。

平成24年度からは団塊世代の方々が65歳に到達し、しばらく入会希望者の急増が予測されますが、これを契機に地域の多様な要望に対応できる人材を幅広く確保し、センター運営基盤の充実、強化を図ることが重要です。

(2) 基本計画

- ・健康で働く意欲が高く、有能な人材の受入れを促進します。
- ・女性会員に適した就業先を積極的に拡充・開拓します。
- ・入会説明会及び相談窓口の充実を図ります。
- ・入会を促進する効果的な広報活動を展開します。

2 就業開拓の強化

(1) 現状と課題

公共関連の需要の伸びが見込めないため、民間企業や一般家庭へのPRや受注活動を活発に行って就業開拓を進めると共に、発注者のニーズに的確に対応する必要があります。

今後、一般家庭等からの需要増が予想される植木剪定や除草等の技能を要する職種の会員を育成して人材の確保を図るとともに、新規分野の就業開拓及び独自事業開発への展開の検討を行う必要があります。

(2) 基本計画

- ・職種別就業可能者リストや有資格者リスト等を整備します。
- ・技能を要する職種及び需要増が見込まれる職種に対して技能講習会や就業を通じて会員を養成し、計画的に人材を確保します。
- ・市場ニーズの把握及び、地域班、営業経験者を中心に全会員が一致協力してPR及び、受注活動を展開します。
- ・シルバー派遣事業の需要開拓を積極的に推進します。
- ・会員からのユニークな企画提案を受入れ、発案者を中心に新たな独自事業として検討し、見通しが立てば果敢にチャレンジしていきます。

3 就業の公平化・適正化

(1) 現状と課題

会員数は増加するものの、相当数の未就業会員が存在していることから、就業率が徐々に低下の傾向にあります。多くの健康で働く意欲のある会員の「生きがいつくり」と「社会参加の実現」のため、公平かつ均等な就業機会の提供が必要であり、会員の多様化する働き方のニーズに対するきめ細かで丁寧な対応が求められます。

(2) 基本計画

- ・長期就業の是正のため、「施設管理等の就業期間に関する要綱」を適正に運用します。
- ・就業ローテーションおよびワークシェアリングを推進します。
- ・会員からの相談等の窓口を設け、会員の希望職種や能力・適性等の把握、受注情報の収集、公開、提供等を効率的かつ効果的に実施します。
- ・高齢会員に適した職種の選定や働き方を検討します。

4 安全就業の徹底

(1) 現状と課題

就業中あるいは、就業途上での「事故ゼロ」を目指し、会員の「安全第一」意識の高揚を図って、安全就業を徹底するための組織体制の見直しが必要です。さらに、会員が安全に適正就業ができるように、健康維持増進をサポートする取り組みも重要となります。

(2) 基本計画

- ・安全就業に関わる指導や講習会を充実します。
- ・安全衛生管理体制を構築し、効果的に運用します。
- ・会員による各職場の安全パトロールを定期的の実施します。
- ・安全就業基準(全体、職場毎)の見直し、整備を行います。
- ・定期健康診断の啓発、健康講習会や体力測定を実施して健康への関心や健康の喜びを高めます。

5 組織体制の強化

(1) 現状と課題

センターの基本理念や目的等に対する会員意識の向上を図り、自主・自立に向けた会員参加型の組織体制の再構築が必要です。発注者や会員のニーズに的確かつ柔軟に対応できる運営組織を作る必要があります。

事業拡大に伴う事務機能の改善を実施し、職員の資質を向上して、より効果的・効率的な事業運営を目指すことが不可欠です。

(2) 基本計画

- ・ 会員参加型の自主・自立の運営体制の検討を進めます。
- ・ 会員および職員の能力向上のため、他センターとの交流や外部の研修会・講習会等へ派遣します。
- ・ 事業拡大に伴って増大する事務処理に関する標準化やOA・IT化を推進し、業務の効率化を進めます。
- ・ 事務局と職域等との事務分担を見直し、事務の軽減と効率化を目指します。

6 財政基盤の安定化

(1) 現状と課題

国における行政刷新会議の事業仕分けによる補助金の大幅な削減など、財政基盤はより一層厳しくなっています。唯一の自主財源で設立以来据え置いてきた事務費率を平成23年度から5%を8%に引き上げます。しかし、受注の伸び悩み等センターを取り巻く環境は厳しさを増しており、更なる自主財源の確保を検討する必要があります。又、管理運営費等は一層の削減が求められています。

(2) 基本計画

- ・ 自主財源確保のための施策を検討します。
- ・ 設立以来、据え置かれている会費の見直し、及び賠償責任保険等の保険料の会員負担等を検討します。
- ・ 管理運営費の節減目標値を設定し、目標達成を目指します。

7 公益法人制度改革への対応

(1) 現状と課題

現在の社団法人は平成25年11月30日までに公益社団法人又は、一般社団法人のいずれかの法人に移行しなければなりません。当センターは、高齢化社会を支える地域の中核的な組織として、公益社団法人への移行が決定しています。移行認定申請には、神奈川県シルバー人材センター連合会及び、各拠点センターと連携を図る必要があります。

(2) 基本計画

- ・平成24年度からの公益社団法人移行を目指し、平成23年度中に移行認定申請を行います。
- ・認定後には、情報開示、事業報告、法令遵守等の公益法人制度にのっとった適正な事業運営を遂行します。

8 会員の交流・親睦活動の活性化

(1) 現状と課題

うるおいのある生活をエンジョイするためには、会員同士の交流、親睦や趣味を通じての「仲間づくり」が大切です。現在、センターには11の同好会が活動しており、又、年2回の親睦旅行を開催しています。

さらに、地域社会への貢献策として各種のボランティア活動を実施しています。

これらの活動に対する参加者を増加する事によって組織の強化と活性化を目指す必要があります。

(2) 基本計画

- ・会員同士のふれあいの場として、同好会活動の充実を支援します。
- ・清掃活動や子ども見守りボランティア等を積極的に行い、会員の地域社会への参画意識を高めていきます。

Ⅶ 将来推計

1 会員数・入会率

- 総人口、60歳以上人口は、伊勢原市担当課における将来人口推計値を採用
○粗入会率、会員数男女内訳は、過年度実績に基づく推計値

単位:人

項目	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
総人口		104,900	105,500	106,000	106,300	106,400
60歳以上		29,100	29,900	30,600	31,200	31,800
粗入会率(%)		3.3	3.4	3.5	3.6	3.7
会員数		960	1,020	1,075	1,130	1,180
内訳						
男		768	816	860	904	944
女		192	204	215	226	236
会員増人数	前年度比較		60	55	55	50
	累計比較		60	115	170	220
増加率		6.8%	6.3%	5.4%	5.1%	4.4%

2 事務費率

- 平成22年度第3回理事会(H22.10.15)承認議案である事務費の額を継続する
23年度において、公共分は4月適用、民間分については10月から適用

単位:%

事務費の割合	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
公共		8%	8%	8%	8%	8%
民間		8%	8%	8%	8%	8%

3 契約金額

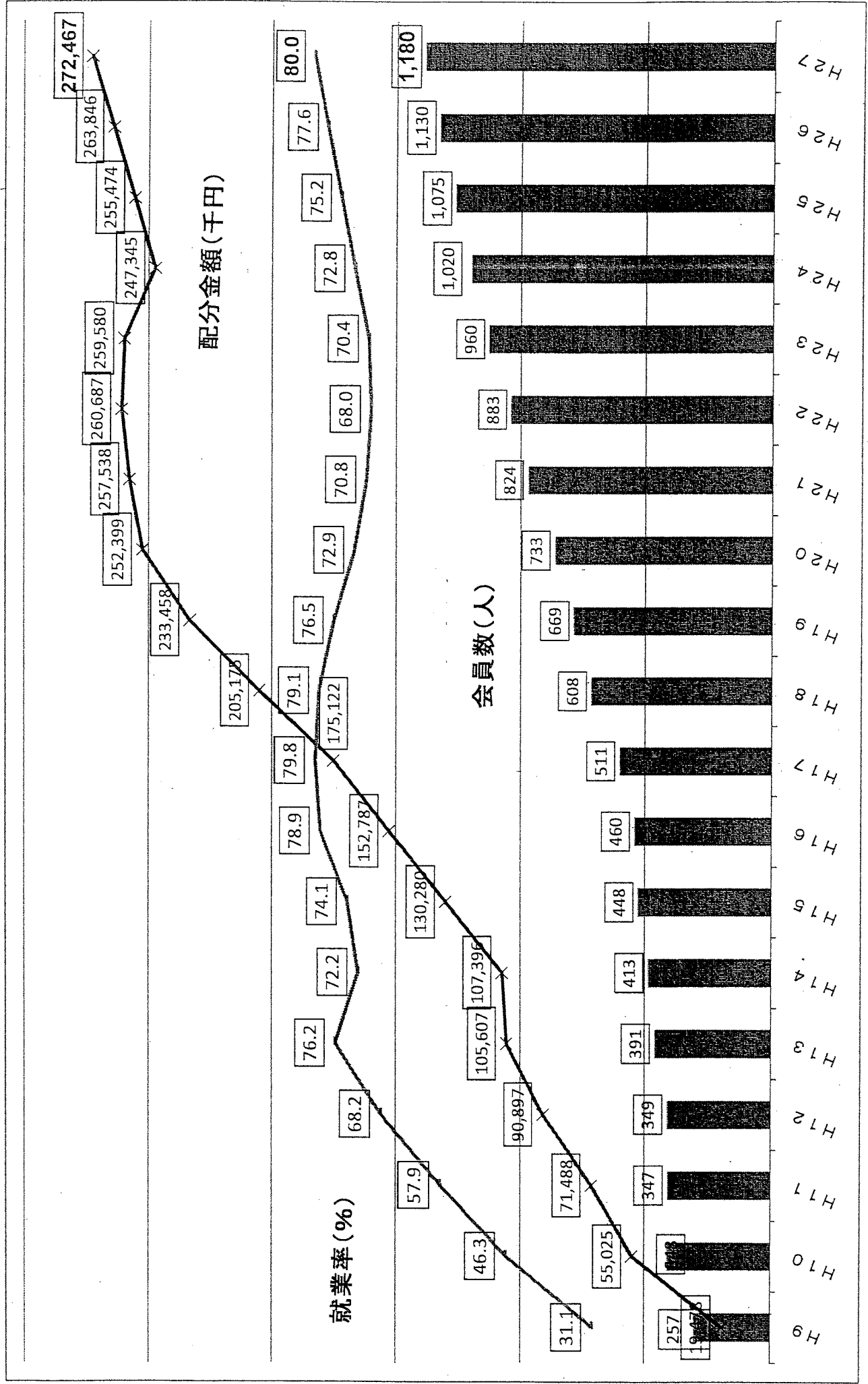
- 23年10月からの民間分事務費3%増により、受注の2割減を見込む。
○24年度以降は、3%ずつの回復を見込む

単位:千円

項目	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
合計		267,422	256,926	265,705	274,747	284,058
対前年度増減額		△13,011	△10,496	8,779	9,042	9,311
増減率		-4.6%	-3.9%	3.4%	3.4%	3.4%
公共分		96,249	96,249	96,249	96,249	96,249
対前年度増減額		2,673	0	0	0	0
増減率		2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
民間分		171,173	160,677	169,456	178,498	187,809
対前年度増減額		△15,684	△10,496	8,779	9,042	9,311
増減率		-8.4%	-6.1%	5.5%	5.3%	5.2%

- 23年度公共分の増は、事務費率改定によるもので、以降の年度において、公共分の増額(新規)契約分は見込まず。

年度別事業実績・将来計画 グラフ



H23年度以降は、将来推計値